

わくわくサイエンス～ボクもワタシも科学博士～

竜王町	活動名:竜王キッズクラブ サイエンスクラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
主な活動場所:竜王町公民館 他		開始年度:平成 18 年度
年間開催日数:年間7日(開催ペース:2か月に1回)		地域学校協働活動推進員数:2名(兼務2名)
平均参加人数:13名		平均スタッフ数:3名
活動内容: ☒ 学習支援 ☒ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☒ その他(郷土学習)		

■ 活動の概要・特徴的な活動

・小学校1年生から6年生までの子どもたちが地域の人々との交流を深めながら、科学工作や実験等を通じて、新しい学びや技能の向上をはかり、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

・地元の自然に関する書籍等の編纂に携わり、自然観察や自然素材を使った工作教室などを手がけている団体や元教職員が講師として指導をすることで、低学年の子どもでも分かり易く学ぶことができる。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

・参加者は低学年が多いため、原則保護者同伴で開催をしているので、兄弟等小さい子どもがいる家庭は、事前に連絡をいただき家族参加も可能としている。

・低学年参加者で保護者同伴できない場合は当日参加する保護者に見守りを依頼している。

・今年度はチャレンジクラブと合同で科学工作、アドベンチャー体験、エアホッケー体験など5事業を行った。他のクラブの内容を取り入れることでマンネリ化を防ぎ、新しい学びを習得できた。

■ 事業の成果と課題

・天体観望(夏・冬)、自然観察会、野鳥観察会、科学工作など、サイエンスに関わるいろいろな活動内容を楽しく学ぶ機会を提供することにより、理科離れが叫ばれる昨今ではあるが、サイエンスをはじめ何事にも興味を持ち、挑戦していく力を養うことができた。

・家族参加も可能なため、家族間の交流も深まり、情報交換や共有の場にもなった。また、今年度はチャレンジクラブと合同で事業を行ったことによりクラブ生の間で新たな交流が図れた。

・活動開始から10年以上が経過しているが、1年生から参加できるクラブのため人気が高い。一方、低学年は保護者同伴とはいえ、対象者が1年生から6年生まで幅広く、みんなの歩調を合わせた活動の進め方が難しい。



【 エアホッケー体験 】

報告書記入者 (公民館 公民館係)

はじけるぼくらの書道愛！ モノにしよう綺麗な字！

竜王町	活動名:竜王キッズクラブ 書道クラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
主な活動場所:竜王町公民館		開始年度:平成 23 年度
年間開催日数:年間22日(開催ペース:月2回)		地域学校協働活動推進員数:2名(兼務2名)
平均参加人数:15名		平均スタッフ数:2名
活動内容: ☒ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他()		

■ 活動の概要・特徴的な活動

・書道を基礎から学び、硬筆と毛筆の技能向上はもちろんのこと、両小学校の異年齢の子どもたち同士が地域の人々との交流を深め、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

・県の展覧会等でも受賞経験のある有段者(元町職員)が講師として指導をすることで職員との連携や情報共有が取りやすい。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

・小学校2年生から6年生までの小学生を対象として、同じ教材をもとに継続した取り組みができていますので、6年生まで継続してくれる子どもが多い。

■ 事業の成果と課題

・技能の向上をめざして、練習(復習)を重ねる継続した取組により、進歩が冴々となって現れるため、何事にも挑戦し、あきらめない力を養うことができた。

・展覧会への出展や町公民館等で定期的に展示することにより、自信や達成感が深まり、大きな展覧会でも優秀な賞を受賞するなど次へと飛躍する原動力となった。



【 毛筆練習 】

報告書記入者 (公民館 公民館係)

仲間とともに限界にチャレンジ！ ～生きる力を身につけよう～

竜王町	活動名:竜王キッズクラブ チャレンジクラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
主な活動場所:竜王町公民館 他 年間開催日数:8日(開催ペース:2か月に1回) 平均参加人数:10名 ・活動内容: ☒ 学習支援 ☒ 体験活動 ☐ 芸術・文化 ☒ スポーツ ☒ その他(郷土学習)		
開始年度:平成 22 年度 地域学校協働活動推進員数:2名(兼務2名) 平均スタッフ数:2名		

■ 活動の概要・特徴的な活動

・県内にある屋内外の体験施設等を訪問し、チャレンジをしながら、両小学校の異年齢の子どもたち同士が地域の人々や仲間と交流を深め、協力しあう大切さや何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

・町生活安全課や消防署、赤十字奉仕団等のボランティア団体の協力を得ながら、活動内容を組むことで、普段の学校生活では体験できないことを体感し、知識を身に付けられる。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫

・メニューごとにその分野に長けた保護者やボランティアを指導員として依頼している。
 ・今年度はサイエンスクラブと合同で科学工作、アドベンチャー体験、エアホッケー体験など5事業を行った。他のクラブの内容を取り入れることでマンネリ化を防ぎ、新しい学びを習得できた。

■ 事業の成果と課題

・野外活動が中心となるため安全管理を十分に行う必要があり、職員だけでは十分でないため、保護者等の協力を得なければ活動が難しいことがある。野外活動のボランティア確保が必要である。スキー教室には若い世代のボランティアも確保しつつあるので今後もボランティアの発掘、確保に努めたい。
 ・カヌー体験、アドベンチャー体験、スキー教室等では、受講料以外の諸経費を毎回負担金として徴収するため保護者の負担が大きい。普段体験できない貴重な経験ができるということで保護者の理解は得られている。
 ・今年度はサイエンスクラブと合同で5事業を行ったことによりクラブ生の中で新たな交流が図れた。
 ・活動内容のマンネリ化は否めない。また、小学生が体験できる屋外アクティビティには、子どもの安全確保のため、大人の引率が必要など様々な条件が重なり内容の決定に苦慮している。
 ・野外活動が中心となるため、天候に左右され実施できないことが多い。



【 カヌー体験 】

報告書記入者(公民館 公民館係)

奏でよう、素敵なハーモニー ～子ども吹奏楽団～

竜王町	活動名:竜王キッズクラブ 竜王ユースプラス	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会： ☒ 有 ☐ 無
主な活動場所:竜王町公民館 他 年間開催日数:年間50日(開催ペース:毎週土曜日) 平均参加人数:12名 ・活動内容: ☐ 学習支援 ☐ 体験活動 ☒ 芸術・文化 ☐ スポーツ ☐ その他()		
開始年度:昭和 62 年度 地域学校協働活動推進員数:2名(兼務 2名) 平均スタッフ数:3名		

■ 活動の概要・特徴的な活動

・音楽の基礎知識を学びながら演奏技能の向上と両小学校の異年齢の子どもたち同士が発表会等により地域の人々との交流を深め、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

・地元企業のサークルで活躍する方や元教師の方が講師として指導を行うことで、わかり易く学ぶことができる。
 ・3名の講師がおり受講生ひとりひとりの技能にあわせた練習をすることができる。
 ・希望楽器の調査を行い、講師が体格や肺活量をみて子どもにあった楽器を選べる。
 ・卒業生のほとんどが、中学校で吹奏楽部に入学するため、継続した活動ができる。

■ 事業の成果と課題

・新しく入学したクラブ生に、経験者が補助をする姿も見られ、責任感や協調性を養うことができた。
 ・開催時間帯が夜間であるため、保護者の送迎等による理解とあわせて防犯対策を十分に講じる必要がある。



【 ジュニアミュージックフェスティバル 】

報告書記入者 (公民館 公民館係)